

第4回

令和7年2月8日(土)

教師未来塾

～学ぼうスキル高めよう資質・能力 いざ千葉の先生へ～



テーマは「特別支援教育」と「授業づくり」

2月8日(土)に今年度4回目の教師未来塾が行われました。今回は「特別支援教育」と「授業づくりのポイント」をテーマとした研修でした。受講生の皆さんは、非常に熱心な姿勢で、活発に意見交換をする姿が見られました。当日受講した皆さんの感想を一部紹介します。

1 講話「特別支援教育について」



特別支援教育のねらいや内容、国や千葉県の現状等について講話を聞きました。また、インクルーシブ教育システムや合理的配慮の具体的な例について学びました。

特別な支援を必要としている生徒は、通常学級にもいると考え、学び方の特徴に留意しつつ、困難さを少しでも軽減できるような授業を心がけたいと思います。

特別支援教育については、通常学級でも学習面等で困難を示す生徒が8.8%いることから、自分にも関係があることだと改めて感じ、もっと深く学びたいと思いました。

特別支援教育については、たまごプロジェクトで毎週学校での研修を行っているため、個別の支援の際に知識を活用していきたいです。



2 講話・演習「授業づくりのポイント 教材研究と問い」



授業を行う上で、素材研究の大切さについて講話を聞きました。また、道徳の模擬授業を通して、授業展開や発問、子供たちの思考を促すポイントなどを学びました。

効果的な発問の仕方というところで悩むことが多かったので、今後の模擬授業を行う際、今回学んだ発問の仕方を活かしていきたいと思います。

発問は、模擬授業を大学で行った時から課題に感じていたため、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンを上手く活用して児童生徒の思考を働かせるようにしたいと思います。

講義が大変楽しく、勉強になりました。模擬授業を通して分かりやすくポイントをまとめてくれたので、「こんな授業をしたい!」と心から思いました。

